

1 剛胆ロビン・フッド

- ああ 剛胆ロビン・フッドは善良なる森の住人
陽気な緑の森の射手
鋭い角笛の音はこだまとなって響き渡り
森中の鹿は遠くへと逃げ去っていく
我らは茂みを駆け抜け 谷間を飛び越え 5
剛胆ロビンが三度鳴らす角笛の音に集う
- 緑の衣を身にまとう我らが森の^{あるじ}主の誇り
マリアンほど優美な処女王はいない
木陰に花開く美しい花園の花
この時刻までただ一輪咲き続ける森の薔薇 10
我らは忠義を誓い 美しきマリアンを称える
生きるも死ぬも我らが処女王の仰せのまま
- お次に控えるは灰色の修道士 この上なく善良なお方
必要とあらば我らの罪の全てを清めてくれる
逞しい腕でオークの大枝を振り回し 15
讚美歌を邪魔する奴らを追い払う
我らは修道士の聖歌隊 我ら陽気な森の住人
勇ましき修道士と共にうたう
- 頑丈なイチイの弓を持つスカーレット
我らが王ロビンの右腕たる男 20
射てぬ的ないリトル・ジョン
遙か先を飛ぶ雄雀をも射ち落とす
ロビンにマリアン スカーレットにリトル・ジョン
我らがシャーウッドの森よ その栄光を称え続けよ
- 綺麗に羽を整えた矢に^{ふさわ}相応しき獲物は 25
丸々と肥えた鹿に川辺の鳥
だが何よりの獲物は でっぷり太った大司教
ちよいと脅せば ^{エンジェル}金貨様を奪い放題
慎ましき大司教様には^{エンジェル}聖なる天使様
この世のまやかしの^{エンジェル}金貨様は 我ら罪人にこそ^{ふさわ}相応しい 30

ロビンにマリアン スカーレットにリトル・ジョン
ひとりひとりに乾杯だ うたいながら乾杯だ
ロビンにマリアン スカーレットにリトル・ジョン
こだまよ こだまとなってシャーウッドの森に響き渡れ
ロビンにマリアン スカーレットにリトル・ジョン
我らがシャーウッドの森よ その栄光を称え続けよ

35

(宮原牧子訳)